

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	ディズニー・オン・クラシック2007						
目的・内容	<p>市民要望の高いクラシック音楽のコンサートを、誰でも親しみやすいディズニーをテーマに開催することで、より幅広い年齢層の方に舞台芸術の素晴らしさを知っていただくことを目的とする。</p> <p>2004年から開催され、毎年各公演地で好評を博している「ディズニーオンクラシック」を開催し、多様な芸術創造の鑑賞の機会を充実させ参加と享受を推進すること、感動を共有できる「場」としての劇場において“顧客満足”の立場から高品質なサービスを提供することを目的とする。</p> <p>【使命】「文化人口の拡大とレベルアップ」「県民へのサービスの推進」 【事業の柱】「企業との協働事業の推進」</p>						
開催日時	平成19年10月22日(日)17:00開演						
会場	鳥取県民文化会館梨花ホール						
入場料・参加費 (友の会)	S席 8,000円	A席 6,500円	B席 5,000円				
集客状況	入場者数	1,917名	設定席数	1,968席			
			集客率	97.4%			
事業費状況	予算額	収入	533,000円	支出	938,000円	収支比率	56.9%
	決算額	収入	226,080円	支出	435,090円	収支比率	51.9%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・すばらしかった。楽しいトークに曲、ありがとうございます。プリンセスたちの歌の上手さに感動しました。 ・梨花ホールがディズニーランドのアトラクションになったみたいな臨場感を感じさせてくれました。最高でした。 ・パイレーツオブカリビ안의最後の煙がいつまでも残り、喉が不快でした。(2階席) ・とっても素敵でした。小さい頃からとってもディズニーが好きだったので夢が叶った気持ちで感動しました。絶対また来て欲しいです。 ・すべてすばらしくて、普段からクラシックを聴いていますが、大好きなディズニーと両方楽しめて、自然に涙があふれてきました。子どもも満足しているようでした。 ・スクリーンに日本語か又は歌詞を日本語で歌ってくれたらもっと楽しくなる。 ・来年のツアーに倉吉未来中心を入れてください。星に願いをは、英語の歌詞にカタカナをつけてでもいいから、英語で。 						
1次評価 (内部)	<p>【成果】</p> <p>①広報宣伝やチケットの販売等を含めた共催事業のやり方など今後に向けて大いに参考となった。</p> <p>②「見せる」コンサートという部分を強調させ、視覚でも楽しめるエンターテインメントとしてまとめ上げていることは、親子や若者が気軽に鑑賞できることやクラシック初心者がりピーターに繋がる鑑賞環境を創れた。</p> <p>【課題】</p> <p>①運営体制において、共催先と予算作成時に十分な打ち合わせがなされておらず、販売手数料等で若干再調整を必要とした。</p>						
2次評価 (財団評議員)	<p>【成果】</p> <p>①コンサートの事務的な運営については最大限に評価したいし、満席であったことも十分な成果である。</p> <p>②良質な音楽を子どもたちが楽しむ機会の少ない鳥取で、ディズニー音楽は一定の役割を果たした。</p> <p>③会場は満席。マスコミと連携すれば、大量動員できることが実証された。なじみのポピュラー音楽に、聴衆は満足し、自然にスタンディング・オベーションとなった。</p> <p>【課題】</p> <p>①ネームバリューでチケットは売れたが、財団の力になったかどうかは不明。この安定路線だけでなく、徐々にレベルアップした企画を実現してほしい。</p> <p>②日頃のクラシックとは分断されているので、この間隙をどう埋めるのかが課題となる。</p> <p>③社会的責任をもつマスコミと協力しあうのも一つの方法であろう。内容をよく吟味して、今後の活動につなげるように希望する。</p>						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との共催より、チケット販売などへのさまざまなノウハウを学び取るよう努力する。 ・アンケートデータ等をクラシック音楽の事業時に活用し、今回の観客を本格的なクラシックファンへ導いていけるよう検討していく。 ・マスコミとの共催事業の実施は財団にとっても大きなメリットであり、今後も共催を検討していく。 ・当初からの綿密な計画と予算作成を徹底する。 						